

號五十二第

報部

日一十月五年三十和昭

○臺灣農業義勇團の使命
(殖産局農務課)

○新增税と地方税との
關係に就て
(内務局地方課)

○地方情報
(州・廳臨時情報部)

○海外情報
(臨時情報部)

附錄
事變ニユース
事變日誌

昭和十三年九月二十日創刊(郵便物認可) 毎月一日、十一日、廿一日發行
昭和十三年五月十一日發行



府督總灣臺

部報情時臨

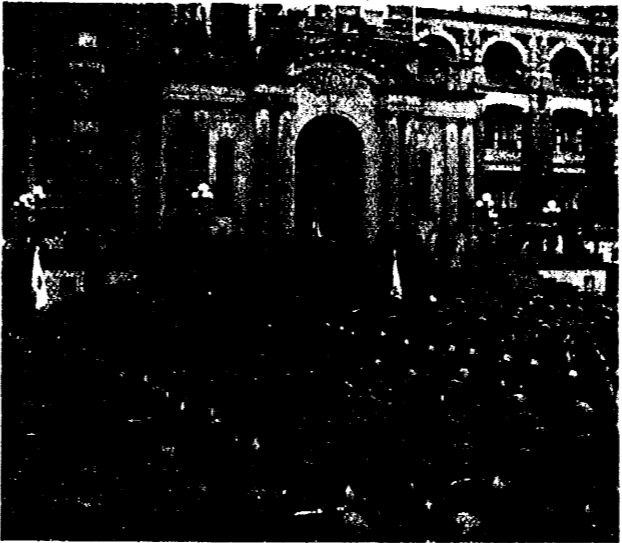
大 陸 に 鋏 つ う 臺 灣 農 業 義 勇 團



總 督 揮 毫 の 團 旗

臺灣農業義勇團の使命

殖産局農務課



團旗授與式當日の全景

支那事變は愈々長期戦となり支那問題を中心とする時局は新しき段階に入り、國民政府は事實上中華民國政府たるの機能を喪失し、之に代つて北京始め各地に新政權の確立を見るに至つたが、皇軍の驚異的戦捷と貴き犠牲とを意義あらしむるには従來に増して今後の施設經營に俟つべきものが甚だ多い。即ち向後益々物心兩方面より國家總動員態勢の完成を期し人的並物的資源の保育に力め國力の涵養を圖る要、切なるものがある。

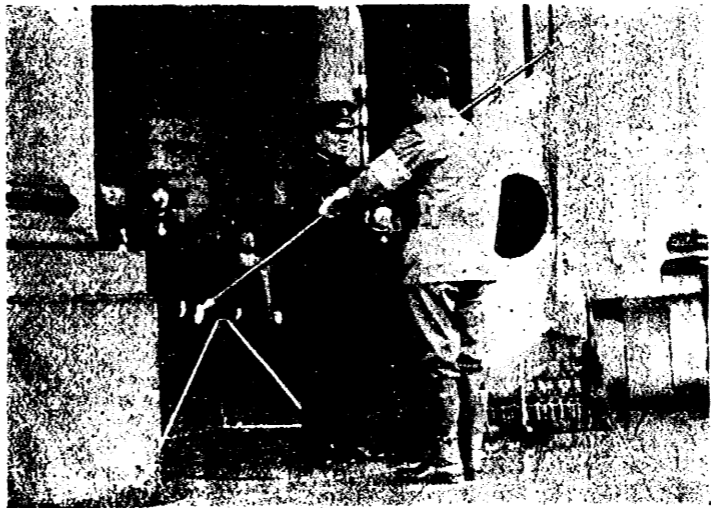
而して我臺灣は事變勃發以來舉島一致、國防

二
献金に、恤兵金献納に蓖麻の愛國栽培に、或は苧麻、畜肉、干草、蔬菜、木炭其の他の軍需品の調達に國民的眞情を吐露し、聖戰の目的達成に協力するを得たが、更に益々確固不拔の國是に率先順應し遺憾なき戦果を收むる様努力する必要がある。

二
過日壯途に上つた臺灣農業義勇團は上述の目的遂行の一機關として中支に派遣せられたもので、改隸以來四十有餘年、この間各般に亘り保育醸成せられたる臺灣農業の潜勢力を發揮し、皇民化徹底の證左を如實に示し、臺灣の特殊使命に立脚し農業報國をなさんとするものである。而して一度臺灣農業義勇團の計畫發表さるゝや報國の機會は今を措いて他になしとなし、應募者總數二、九〇五名に達し定員の三倍に垂んとする盛況を呈した事は時局の反映とは言へ皇民化促進の一例證として特記すべき事象であり、幾多美談の發生は皇國日本の一環としての臺灣に力強さを感ぜしめる。

三
臺灣農業義勇團の使命の一は新鮮なる生蔬菜を戦地に供給し皇軍の戦闘力の充實を期するにあるが、本島としては既に昨年十月中旬より生蔬菜の戦線向輸送をなし相當の成績を收め得たが、葉菜類の大部分は耐久力の關係より輸送困難なるため、同時に乾燥蔬菜の生産を行ひ輸送をなし來つた。自今益々蔬菜獎勵と併行し本島農民の手によつて戦地に近く蔬菜栽培をなし、ビタミンCの圓滑なる補給を圖り國力の充實に資し得ることは大なる感激であり深き意義を有するものである。

由來本島人は蔬菜栽培を賤業となし、自ら之が栽培をなすもの少く生活必需品たる蔬菜を購入し、



總督 岡 旗 授 與

不健全なる經濟をなしたるが、今日蔬菜栽培により國家に貢獻し得ることは轉た今昔の感に堪へないものがあると同時に將來更に貴い生業として蔬菜の自給をなし農家經濟の正常化を促進するに至つた事は本島農民の爲喜ぶべき事柄である。

四

次に臺灣農業義勇團は將來に於ける本島人の海外發展の貴い試金石として重大なる意義を有する。

本島人家族制度は分頭相續であり、現在の農家一戸當りの平均經營面積約二甲は決して少しとしないが、將來の推移並によりよき向上を考ふる時、海外發展は本島農民自身の爲のみならず帝國々力伸長に必要であり、後述の理由により東亞百年の隆盛を期する上に於ても不可缺の條件である。

試みに人口密度のみについて見るに、一方軒當日本の一四六人、臺灣の一四五人に比し中華民國は四八八人、中國本部は八五人である。支那の本島農民に期待する處は大きく支那八、七三千方軒の廣大なる地域は支那人に近い風俗習慣を有し、而も皇民たるの訓練を経たる本島人に接觸することにより新東洋經濟建設への提携が促進せらるゝものと思はれる。臺灣農業義勇團の有する使命は重く特に確固たる日本精神の堅持を必要とすること尙に大なるものがある。

五

顧るに臺灣農業は領臺以來長足の進歩をなし、明治三十五年の農業生産五、六二一萬圓を昭和十一年の三八、八二七萬圓に比する時は約七倍の増加となる。是、もとより本島農民の努力に負ふ所大なるものもあるもその過半は二視同仁の有難き本島統治の方針に基き當局の指導奨勵宜しきを得たと、農業技術の進歩發達とに依存すると稱するも過言ではない。他國に於ける殖民地領有の目的並に土着民の憫むべき状態と皇恩洽き幸福なる我臺灣の現状とを思ふとき本島農民たるもの農業を通して報恩の機會到來を鶴首したるは想像に難くない。

今や臺灣農民の保有する四十有餘年蓄積せられたる潜勢力と指導啓發せられたる農業技術を中支に移し以て多年の懸案事項を解決する機會を得たことは本島農民の歡喜に止まらず臺灣農業の爲慶賀に堪へない所である。

將に生れ出でんとする、友邦支那は農業國臺灣の熱意ある青年諸子に期待すること大なるものあることは當然である。

六



軍司令部に於ける壯行會

上述の如く、臺灣農業義勇團は單に軍用生蔬菜の圓滑なる供給を企圖し、軍の要請する所を充足すると共に本島人海外發展の先驅者としての重大なる使命を有するのみならず大陸農業開發の擔當者、指導者として重要な責務を有するものである。即ち農業義勇團の成績如何は種々の意味に於て重要なものであり、團長、隊長は勿論各州より嚴選の結果選拔せられたる一、〇〇〇名の團員の一擧手一投足は心してなさるべきである。

臺灣農業の海外進出、併も時局下に於て農業報國をなしつつ、先進農業技術を以て後進地を指導し得る機會を把握し新東亞經濟建設に参加し得たことは寔に近來の快心事であり、臺灣の爲眞に慶賀に堪へない處である。切に本團の成功を祈つて止まない次第である。

終りに去る四月二十五日結團式當日に於ける總督閣下の訓示、軍參謀長閣下の壯行の辭並に熊澤團長の答辭を記し、臺灣の本團に期待する所及び團員の決意を窺ふこととする。

總督ノ訓示

諸子ハ各州ヨリ選拔サレテ臺灣農業義勇團員トナリ將ニ上海ニ向ツテ出發セントシテ居ル。

諸子ノ當面ノ仕事ハ、皇軍ノ一ノ機關トナツテ出征將兵ノ爲ニ一



臺灣神農社正式參拜を終へて

日モ缺クベカラザル食料ヲ培育供給セントスルニ在ル。之レ素ヨリ重大ナル任務デアルガ、更ニ大キク考フレバ諸子ハ實ニ本島人海外發展ノ先驅トナルノデアツテ、諸子ガ克ク其任務ヲ達成スルヤ否ヤハ本島人將來ノ發展ニ甚大ナル關係ヲ有スルノデアル。

諸子ハ克ク其責任ヲ理解シ艱苦缺乏ニ耐ヘ立派ナ成績ヲ擧ゲテ、臺灣農業義勇團ノ名聲ヲ高

揚シテ貫ヒタイ。終リニ三ノ標語ヲ諸子ニ贈ケスル。

- 一、健康ナレ
- 二、忠實ナレ
- 三、團ノ名聲ヲ恥カシムル勿レ

臺灣軍參謀長ノ壯行ノ辭

今回諸子ハ中支ノ野ニ日ノ丸ノ旗ヲ翻シツ、日本農民ノ意氣ヲ示シ得ル機會ヲ得テ嘸カシ本懐ノ事

勇躍壯途に上る



臺北縣に於ける團員の勢揃ひ



愛國婦人會員の送り



島民の熱叫に應へて

ト思フ。余ハ諸子ガ今日欣然トシテ壯途ニ上ラントスルヲ見テ色々ノ意味ニ於テ同慶ニ堪ヘナイ處デアル。諸子ハ自身ノ爲メ、臺灣ノ爲メナドトイフ小サナ考デナク、大日本帝國臣民トシテ最善ノ御奉公トナルノデアルコトヲ銘記セラレタイ。

右ノ事情ニ鑑ミ從軍々夫ノ成績等ヲ願ミ諸子ガ今後心掛クベキ點ヲ率直ニ述ベタイト思フノデアルガ、之ハ決シテ諸子ノ缺點ヲ指摘スルノガ目的デナク、諸子ヲシテ自重自戒將來ニ過ナカラシメントスル余ノ老婆心デアル。

- 一、片時モ自分ハ大日本帝國臣民デアルト云フ觀念ヲ離レテ行動セザルコト
 - 二、積極的ニ體力ノ錬磨ニ勉メ特ニ寒氣ニ對スル抵抗力及雨雪ヲ厭ハヌ氣力ヲ養成スルコト
 - 三、利己主義ニ陥ラズ常ニ服從、協同ノ德ヲ涵養シ規律節制ヲ守ルコト
 - 四、衛生思想ヲ向上シ特ニ酒色ニ耽ルコトヲ戒メ病魔ノ豫防ニ注意スルコト
 - 五、冷飯、麥飯ヲ嫌惡シ或ハ少シノ飢餓ニ悲鳴ヲ擧ゲ困苦缺乏ニ負クルガ如キコトナキコト
- 之ヲ要スルニ諸子ハ作業即チ訓練、即チ報國ノ息ヅマル様ナ舞臺ニ上ラントシテ居ルノデアル。願クハ克ク指導者ノ指示ニ從ヒ、自重自愛全員鐵ノ如キ團結ヲ以テ作業ニ從事セラレンコトヲ、予ハ諸子ガ中文ニ於ケル活動ガ將來ニ重大ナル意義アルヲ認メ聊カ所感ヲ述ベ壯行ノ餞トスル。

團長ノ答辭

今回、私共一千餘名ガ、臺灣農業義勇團トシテ中文ニ派遣セララル、事ニ相成リマシタニ付キマシテハ、豫ネテ涵養致シテ居リマス。皇國精神發揚ノ絶好無二ノ機會ト心得、總督閣下ノ御訓示ヲ體シ、極力奮闘ノ上、重大責務ヲ果シテ參リマス。之ヲ以テ謹ンデ答辭ト致シマス。

新增税と地方税との關係に就いて

内務局 地方課

支那事變に關する臨時軍事費の財源に充つる爲國税全體を通じ、約三億一千八百餘萬圓の増税が行はるゝこととなり、其の増税に關連し内地に於ては支那事變特別税法並に他面時局の影響に依り收益の減少せる自作農者及中小商工業者に對する地租及營業收益税の軽減、増産に係る金鑛、銅鑛、亞鉛鑛、錫鑛に對する鑛産税に關する臨時租税措置法案が第七十三帝國議會を通過し愈々四月一日より之れが實施を見ることとなつたのであるが、當臺灣に於ても等しく増税することとなり、昭和十三年三月三十一日附律令第一號を以て臺灣支那事變特別税令の公布を見、又内地に則應し同日附律令第五號を以て臺灣臨時租税措置令が公布せられ、田畑及養魚池の自作の地租、營業税の軽減並に金鑛、銅鑛、亞鉛鑛、硫化鐵鑛、滿俺鐵鑛に對する鑛産税に關し臨時的租税措置方法が講せらるゝことゝ爲つたのである。

偕て次に今回の臨時増税と地方税との關係を申し上げれば、今回の臨時増税は支那事變費の一部に充つる爲に國庫收入の増加を圖るを目的としたもの故其の増税額に對しては地方團體としては附加税の賦課を禁ぜられ、即ち臺灣支那事變特別税令第一條に規定の所得税、法人資本税及出港税の増徴額は並に利益配當税、公債及社債利子税、通行税、入場税、特別入場税及物品税に對しては同令第五十七條の規定に依り附加税を課することが出來ないのである。更に之を極平易に申し上げれば法人所得税に對する附加税ならば普通所得に付ては百分の四乃至百分の二十八に依る税率に依り、又個人所得税に付ては所得金額の百分の〇・五乃至四十四の税率に依る税額が附加税の基本となるのであつて、臺灣支那事變特別税令第二條（法人に對する増徴率）、第三條（法人に對する増徴率）及第五條（個人に對する増徴率）の規定に依り増徴する税額を含めたものが附加税の基本となるのではないのである。今之を例示すれば千五百圓の第三種所得税額は増徴額を合算し十圓二十一錢となるのであるが、附加税の基本は九圓（増徴前の税率に依る算出額）を基本として算出すべきである。

次に入場税の設定と地方税の關係に付き申し上げれば、入場税は臺灣支那事變特別税令第二十二條に依れば第一種の場所に入場する者、又は第二種の場所の設備を利用する者に課税すとあり、第一種の場所は演劇、活動寫眞、演藝又は觀物を催す場所、競馬場と定められ第二種は舞踏場、麻雀場、撞球場、ゴルフ場、スケート場と定められて居るのである。而して現在地方税として之に類する税が雜種税中に興行税があるが（臺灣地方税規則第三十九條）興行税の課税客體は興行であり、其の納税義務者は興行者（臺灣地方税規則第四十一條八號）となつて居るので、兩者の間、課税客體及納税義務者共に異なることゝ形式上は重複課税ではないのであるが、標準が等しく入場料となる爲實質上は重複となる様であるが、國及地方の夫々の財政上から見れば形式上重複とならざる限りに於ては、實質上重複せられても又止むを得ないものと思はるのである。

次に地租及營業税の臨時的租税措置と地方税との關係は、國税に於ては自作農者が支那事變の影響に依り平年度（昭和十一年以前三箇年）の田畑、養魚池に依る所得に比し五割以上減收のもの及中小工業者が、支那事變の影響に依り平年度（昭和十一年以前三箇年、昭和十二年一月一日より義務發生のものは、昭和十二年の標準）の課税標準に比し二割五分以上減少する場合は、自作の地租に對しては三割乃至五割を軽減し、又營業税に對しては二割乃至五割を軽減し、臺灣總督の指定した礦物に對し礦業税の免除又は不課税することとなつたのであるが、地方税としては之等の附加税に對しては附加税の性質上當然軽減せらるゝものであり、即ち附加税賦課の標準たる本税額は軽減後の本税額に依るべきである。又特別營業税に付ても國税との均衡上からも軽減するのが妥當であるので、内地に於ても、國税の軽減の例に依り地方税營業税を軽減することとなつたので、本島地方税に付ても内地同様の取扱をすることゝせられたのである。

地方情報報

○銃後美談

新竹州臨時情報部

防衛團員銃後の活動

終了したが當防衛團は本人邱習發君が凱旋する迄草取り收穫其の他の仕事手傳ひをすることに申合せた。

竹東郡寶山庄寶山第一保々止湯阿秀の二男湯進は寶山防衛團員であるが、同庄から出征してゐる軍夫邱習發の家族が三月十九日田植をする由を聞き及んだので、三月十八日同管内防衛團の定例召集席上に於て前記邱習發君の耕作して居る水田面積約一甲歩の田植を無報酬で奉仕しては如何かご提議した所、當日の出席者八十五名は孰れも之れに賛同したので十七名を選抜し、三月十九日午前八時より同十時迄此の田植手傳ひに従事し全部を

竹東郡寶山庄防衛團長の發議に依り三月二十日同庄新城、柑子崎、寶山、斗仁の防衛團員二十四名は寶山庄役場兵事係記文水君監督の下に各自辨當を携行して午前九時より午後五時迄寶山庄寶仁斗よりの出征軍夫江文鐘君の家族が耕作してゐる水田の田植手傳ひの奉仕を爲したが、今後は其の他の出征軍夫家族の耕作してゐる水田の手入れ除草を手傳ひ、時には遠方の寶山庄双溪及大崎方面の各防衛團員も加はり無報酬で奉仕することに由合

せた。

三

竹南郡頭分庄田寮五三番地の饒維櫻君は貧しい日傭者であるが皇國精神厚く模範青年として附近の賞揚を受けてゐる。昨年頭分庄の防衛團員に選抜されて以來よく團長、班長の命を守り常に模範團員としての勤務振りを發揮して來たが、去る三月十日陸軍記念日に於ける第三種訓練には數日前より愛兒の病氣看護に疲勞の色も見せず、然かも危篤に陥つた子供を家内に託して、定刻午前八時に出席し一生懸命に立働いたが、其の不在中母の手に抱かれてゐた愛兒は刻々病狀悪化して遂に同日午後二時他界して仕舞つた。家人の急報に依り家に歸つた饒君はさうく愛兒の臨終に間に合はなかつた。此の事が傳はるや痛く感激した團長は早速金一封を香奠として贈り弔問して慰めた。因みに同君は四月十六日の訓練日には模範團員として防衛團より表彰された。

兒童の心に芽生える皇民化

二 (南庄公學校)

教室の一隅に青竹で献金筒を造つて受持教師を感激させた兒童も、いよ／＼卒業したのでこの献金筒を打破つたところ一金五圓四十一錢になつてゐた。卒業生が残した無言の教訓の前に、在校生も發奮して各教室に献金筒を設ける事を申し合せた。

恩師多田中尉の戦死を聞き

同級生相謀り香奠を贈る

元桃園郡南坂農業補習學校教諭であつた多田秀雄中尉は去る三月十六日木橋嶺附近に於て華々しき名譽の戦死を遂げられた事が新聞紙上で報ぜらるゝや、之を聞いた教子の一人たる桃園街小槍溪吳哲理君は早速同期生に檄を飛ばし、一人當り三十錢宛の離出を求め金十四圓ミなつたので吳君外一名は臺北市東門町の遺族を弔問、香奠として之を贈呈し亡き恩師の靈を慰むる所があつた。

防護座談會開催

軍機の漏洩及外謀を防止し國防の萬全を期する目的を以て一般に此の方面の反省注意を喚起する爲、新竹署を始め新竹、大湖、竹南、大溪の各郡主催の防護座談會は三月十一日より前後十回に亘り開催したる所、各地知名の官民有力者總計二六四名會同し懇談の結果孰れも多大の効果を収めて終了した。

臺灣農業義勇團

新竹隊十八日出發

長期戰準備に固めた我が軍部の方針に副ひ、在郷野菜報國より現地野菜報國へ進出すべく、我が臺灣では農業義勇團編成の爲團員募集する報傳はるや、新竹州下に於ては應募者五百二十九名殺到した。中にも中華農村國民學校、崎頂農業傳習所の卒業生達の間には熱心な志願者があつたが、十七歳より二十六歳迄云ふ制限に口惜しがる者も出る云ふ有様であつたが、結局嚴選の結果二百十六名選抜され二十二日結團式を舉行隊旗並國旗授與があり、一同は二十五日早朝勇躍出發した。新竹隊長として船木技手が指導の任に當る筈である。

香奠の一部を恤兵献金

竹東街員陳子字軟橋四九番地、田畑作、葉雙喜君は家族四人暮らして生活は相當困難な方であるが、去る四月八日實母が死亡して親戚知己から贈られた香奠中から金四圓を皇軍恤兵金に提出したが、本人は……吾々國民が今日何んの不安もなく平穩な生活の出来ることは皆偏に皇軍の御蔭であるから、僅かだけれども出征兵士の勞を慰めたいからです……と語つてゐるが一般は其の舉を賞揚してゐる。

軍用雜詰牛徵發に保甲から補助

竹東郡苜蓿林派出所管内保甲役員は四月九日定期保甲會議に於て、徵發される軍用雜詰牛は殆んど使役に堪へない牛であるが、此等の所有者は大抵貧農者であるから、若し此の徵發牛の代償が時價より安價な場合は各保正立會の上、其の牛の評價をして不足額は保甲團から補助することを決議した。

○銃後の花蓮港

花蓮港廳臨時情報部

銃後便り發送

靖國神社臨時大祭遙拜式舉行

花蓮港廳軍事扶助會並警務課に於ては管内出征兵士に對し大々銃後便りを發送し、露營の夢に浮ぶ故郷の日々を知らしめ以つて諸勇士の士氣の鼓舞に努めつゝあり。

時局講演會開催

國民精神總動員花蓮港支部に於ては海軍中將佐藤早藏閣下を招聘し、四月十日午後七時四十分より花園山昭和記念館に於て時局講演會を開催せり。

四月二十六日靖國神社臨時大祭に當り花蓮港街、玉里街、鳳林庄を始め各所に於て午前十時を期し一齊に神式に依り遙拜式を舉行せり。

春雨蕭々として降り注ぎ滿場肅然として聲なく護國の英靈に對し敬虔なる感謝感激の誠を捧げたり。

尙此の遙拜式に参加し得ざりし各個人は天皇陛下御親拜の午前十時十五分を期し大々一分間の黙禱を捧げたり。

海外情報

臨時情報部

所得税の増加に表はれた

北京の繁榮ぶり

中華民國臨時政府の主都北京は、北支明開化のトップを切つて、最近では往年の北京政府時代を凌ぐ程の繁榮ぶりで、百三十萬支那市民は悉く居に安んじ、業に樂しみ、殊に事變以來日本人の進出が激増した爲、地元商工業も頗る好況を呈して居る。此の活況は市の所得税収入にも表はれ市當局を喜ばせてゐる。

即ち北京統稅分局は今年一月から、所得税の徵稅を開始したが、一月の稅收は二萬五千九百九十二元、二月は昨年事變後の所得稅を加へて十一萬四千五百二十二元、三月は二萬八千三百二十九元、四月は三萬一千三百九十五元と増加し、納稅率も極めて良好にして、此の四箇月の

合計二十萬二千二十九元に達してゐる。

これを事變前に比較するに、昨年四、五、六、七の四箇月の所得稅收入は六萬餘元、平均一箇月一萬五千元であつたのに比べて今年四月の如きは、凡そ二倍の好成績で今後も漸次増加の傾向にあり、北京明開化の表象の一つとして市當局はほくそゑむである。

支那軍内の混亂

歸順の一將校に依り暴露

山西にあつた閻錫山軍の將校某は、支那軍内部の現狀に不平不満を抱き最近我が軍に歸順して來たが、その語る所に依るに大體次の通りで、その混亂振りは想像以上のものがある。

「兵の給料は本年一月迄は支給されたが、二月以降は給

奥を受けて居ない。又兵は時には一握の食も得られない程度で、彼等の多くは民衆より掠奪を行つてゐる。この掠奪にあつた農民の困窮は察するに餘りがある。軍の裝備、殊に靴は早くから破損し使用に堪えない程度で彈藥の缺乏は特に著しい。昨年六月頃はまだ中央軍は山西北部で第八路軍を討伐中であつたが、七月頃中央の命令で山西軍は第八路軍に合した。然るに事變發生以來山西軍は山西より退却しない方針を取つてゐるが、第八路軍は山西に於て勢力の擴大を圖る一方中央軍は山西省に第八路軍を引入れ日本軍の後方擾亂を策した爲、第八路軍は山西軍との間に事毎に不和を生じ、最近第八路軍第一師長林彪は山西軍の兵士の爲胸部を狙撃されて、重傷に陥り黄河を渡つて南下したが、恐らく生命は覺えないだらう。衛立煌軍は目下西部地方に活動して居るが、實は彼は蒋介石の命を受けて閻錫山の行動を終始監視して居るのである。閻錫山は臨汾に民族革命大學及民族抗日軍事學校を設け、且各縣に軍事學校の分校を設立したのは、抗日戦の幹部を養成する以外山西の壯丁を第八路軍に加

入せしめない爲の方策も含まれて居る。日本軍の山西作戦に當つて中央軍は逸早く黄河を渡つて退却したが、蒋介石は山西軍の渡河を許さず飽迄も抗戦を嚴命したが、これは明らかに山西軍を潰滅して地方軍閥を整理せんことを蒋介石の巧妙なる方策にして、山西軍の大なる反感を買ひ、打倒蒋介石の空氣は漸次濃厚になりつゝある。第八路軍は三月中旬頃河曲附近から約三千餘、三月下旬に保徳の南方黑峪口から三千餘名が黄河を渡河して陝西省に遁入し、現在残つてゐるのは約四千餘である。支那軍は日本軍の山西作戦で甚大な打撃を受け、爲に壯丁の募集に苦んで居たが遂に非常手段に訴へて強制募兵をやつて軍隊を編制し、第一線に送つてゐるが併し之は何れも百姓であつて、住民は元より募兵を好んでゐない。現山西省支那軍は將校の密偵兵の密偵の二つに別れ、便衣を着て日本軍の後方擾亂をやつて居るが便衣のものも證明書又は護照を所持し、證明書は半紙大であつて被服の内部に縫ひ込んでゐる。ミ語つた。

乞食、無頼の徒を前線に送る

新兵補充に惜む蔣政府

蒋介石政權が今猶虚勢を張り、前線部隊の如何に多大な傷亡者を出しても、後續の補充新兵は無限に續き、長期抗戦の最後の勝利は疑ふべからずと誇稱して民衆を欺き、列國の眼を晦ますことに大童になつて居るが、既に戦線惨敗の真相を識り、云はず語らずの裡に蔣政權の再起全く絶望の見透しをつけて居る一般良民は、新兵の強募を嫌つて忌避する者續出して成績頗る不良で思ふ十分の一にも達せず、四苦八苦の體である。尙前線に送りつゝある補充新兵の色別には大方次の如きものが多い。即ち乞食、大道藝人、無業流浪の所謂ルンペン、失業、勞働者、家財を蕩盡せる道樂息子、不良學生の連中で、是等は事變以來軍費や軍需品の極端なる窮乏に悩める蔣政權の他なき苛斂誅求に因つて一般民衆の生活が塗炭の苦しみに陥つた影響として、備兵にでもならなければ喰つて行けないといふ譯合から新兵の強募に應じたものであり、従つて訓練も規律もあつたものでなく掠奪暴行、

都合が悪ければ逃走するといふ輩で、此の劣弱の後續兵に而も民心既に離反して、猶抗戦を續け様ミしてゐるのだからその無謀は話にならない。

支那軍各所で暴狀

名は遊撃隊實は掠奪強盜

金山衛方面に出没する、支那遊撃隊は各所に於て暴虐の限りを盡してゐるが、寧波方面より漁船に分乗して、金山衛に上陸したものは附近の住民を強制的に狩り集めて青年は戦闘員とし、老人は物資の輸送や陣地構築に使用し、婦女子に暴行し、家財は掠奪する云ふ有様である。之に應ぜざる爲漢奸として銃殺せられた者は、既に多数に上つてゐる。

斷末魔の蒋介石遂に細菌戦術を採用

井戸に細菌毒物を投入す

蒋介石は斷末魔の苦しさに耐へ兼ね無法にも愈々細菌戦術を採用しつゝ、ある模様である。即ち最近山東南部前線の支那各軍に對し、蔣の密令をもつて或事情に依り將兵の生水及煮沸不充分的なもの、

使用及飲用を嚴禁する旨發令せる事實がある。確報に依れば該方面一帯の井戸といふ井戸には既に細菌、毒物の撒布投入を完了せるもの、如く、敗戦逆宣傳に躍起みなつてゐる支那軍は、國際法上は素より人道にも救し難い行爲を今後益々濺發すべく豫想されてゐる。

笑止千萬なデマ宣傳

國民政府は最近連日に亘つてデマニュースを放送して居る。

◇四月二十五日抗日軍が山西省南部地方を奪回し、日本軍約二千を撃破し、之を西方に潰走せしめた。

◇山東省の南半を奪回して二箇師を殲滅した。

◇南京の奪回も目捷の中にあり。

全くお話にならないデマ宣傳を行つてゐるが、これは全く連戦連敗の抗日軍が何ミかして、表面を糊塗し様にする憐れむべき窮餘の策に過ぎない。

今次事變の損害實に百四十億元

一月迄に國民政府側の損害

今次事變發生以來支那側の被つた經濟的損失に就いて

最近國民政府側の某經濟専門家の推定の結果として公表した所に依るに、事變發生以來本年一月までの國民政府側の損害は、軍事上の消耗約二億元、一般建物、財産の損害約百億元、商工業損失及び稅收の損失合せて八億元、一般個人所得損失三十億元、總計百四十億元に上るものと推算されて居る。

支那事變の真相を喝破し

誤れる米國の輿論を是正

米國大學の教壇に立ち、日支事變の真相を説き「支那は病氣だ、手術をしなければならぬ」ミ堂々喝破、誤れる米國輿論の矯正に努めてゐる米人教授のある事が、三十日シカゴ柳谷總領事から外務省に報告があつた。

此の教授はクリップランド博士で、去る三月二十三日夜同長セル・チェンバレン博士で、去る三月二十三日夜同大學講堂で「日支事變」を題して熱辯を揮つたが、其の内容は左の如くで痛烈に事變の真相を衝いてゐる。

支那は病氣が募つてゐるので手術を受けねばならぬ。日本は支那に對して領土的野心は持つてゐない。米國

が、支那にセンチメンタルな同情を持つのは愚の骨頂だ。日本品のボイコットなどは無智な者の賣名行爲に過ぎぬ。日本の大陸政策は結局ソ聯の共產主義から支那を救ひ支那民衆を軍閥の手から解放し、軍閥の傀儡たる蔣政權を打倒、支那民衆の幸福を圖るものだ。

英國が實質的に新政府を承認

海關問題解決に依り

中國の海關は、從來國府財政收入の三割乃至四割を賄ひ、國府最大の財源を爲して居たものであるから日本の稅關とは違つて重大なる意義を持ち、上海の海關始め各地海關は中國の各地方に於ける財政金融の中心を爲して居たが、十九世紀以來その實權を握つて居たイギリスが外債擔保支拂を條件に之を圓滿に日本に譲り渡した云ふことは極東に於ける兩國の經濟戰に歴史的意義を持つもの云はねばならない。從來イギリスの香港上海銀行は海關其の他剩餘金の預金銀行として國府財政の實權を握り支那に於て恰も中央銀行の如く振舞つて居たのであるが、今度この役割は橫濱正金銀行が擔ふことになり、

正金銀行は支那財政に密接な連繫を有するに共に、各方面よりの預金勘定も増加して上海に於ける金融王座たるの地位を確立するものと思はれる。一方國民政府は現在二、三千萬圓に達する海關收入の三分の二を實質的に失ふことになり、この結果財政の窮乏に拍車をかけるものが見られるが、之に對し將來正金銀行に託された外債擔保支拂權の關稅剩餘額が、臨時政府及維新政府の手に收められることになれば、兩政府の財政的基礎の確立に大貢獻を爲す事は明かである。この意味から云へば海關に關する限り英國が北支及中支に生れた新政府を實質的に承認したものと見て、その動向は今後更に多大の注目を惹くに至つた。

愛國的華僑の幻滅

支那事變以來、救國の名を以つて華僑の愛國心に訴へ義金、獻金の德憑に馬來に來た支那要人は、枚舉に暇がない程であつたが、募金の行方は常に謎とされ、其の使途に及んでは頗る怪しいものであり、之が爲次第に馬來在任の華僑の獻金熱も醒め果て、行き、現在では殆ん

と杜絶したも同様である。

ところが未だ相當華やかだった昨年十二月に、中華救傷隊幹事長莫應滋が、戦傷者救済金募集に名を藉りてシガポールに来て各所で催し物を行つたり、頻りに奔走して約一萬弗を得て歸國したが、其の際愛國心かられた華僑青年を説き、救護隊員として戦線に活躍した者は歸國せよとて、希望者に紹介状を與へたのであつた。之を得た華僑青年二十數名(女子三名含む)は感激して一月中旬に自費で歸國し、早速廣東の該本部に赴いたが、彼等の想像は全く裏切られ、救護隊員の必要な南洋へ自費で歸るか、若くは陸軍醫院へ行くか、さもなければ大刀隊に参加して前線へ出よ、と冷酷に突撥ねられて初めて知つた故國の仕打ちに怨嗟憤激に燃えて地團太踏んだが、如何にも致し方なく遂には生活に追はれて、或ひは陸軍醫院附となり、或ひは赤十字に入る等支離滅裂になつて、僅かに三名が再び南洋へ歸來して、此の悲惨な顛末を齎らしたのである。

中國共產黨内に大異状

領袖張國燾國民黨へ轉向除名!

中華ソヴェト管制區政府主席張國燾は朱德、毛澤東と共に共產黨の首領として黨内に重きをなしてゐた人物である。

然るに突如共產黨の黨籍を除名する旨公表した。張國燾を除名するに至つた主なる理由は張が西安事變に際し黨の許可なくして内戦助長の運動を行ひ、壇に職を離れ幾度か復職を勸告したるにも拘らず漢口に留まり今日に至るも何等悔悟の徴見えざり云ふのである。之に對し張國燾は國民黨への協力を力説し次の如く應酬して居る。

「斯る戦時状態に於ては三民主義こそ支那再興の指導精神である國民黨は抗戦の主力である。斯くて同志諸君も論じた如く中國共產黨が更に一步前進して國民黨及び蔣介石を擁護せん事を希望する。」

附 録

事 變 ニ ュ ー ス

臨 時 情 報 部

明朝北支建設の大方針

中華民國臨時政府の行政顧問湯澤三千男氏は明朝北支建設の抱負を左の如く語つた。

今後の支那の行政指導の方針は法律や規律で律せず、親日防共の精神で進まねばならぬ。

第一になすべき事は治安の恢復、次に窮民の救済、河川改修道路建設、水利土木の順であらう。

機關としては省政府、縣政府になつてゐるが、支那人は自治精神が發達して居て、農村も一つの自治體をなしてゐるから今後仕事をして行くには之等の力を活用せねばならぬ。

從來之等の機關は軍閥政府に利用され單なる課税徴收

機關として民衆生活の重しになつてゐた。將來は今迄軍費として費消されて居た多くの金がいらなくなるからそれだけ農民の負擔は輕くなり、一方土木其他利用更生方面に多くの金を使ふ様に出来る譯だ。

これからは行政組織を民衆生活にピッタリ合せて指導改善して行かねばならぬと思ふ。民衆から政治の重しを匪賊の脅威を取り除き、政治生活を含めて行くだけでも、今の財政に取つては大きな革新を考へてゐる。最後に今後の見越しとしては、私は今後の財政は滿洲國等の經驗から考へて十年後を見て呉れと言ひたい。

北支鐵道の整備成り

明朝北支開發の大動脈

北支の鐵道の急に應じた迅速な整備振りは、敵の大軍を撃破しつゝ、ある皇軍の果敢な策戦に劣らぬ特筆すべきものである。鐵道整備は一面作戦の動脈をなすものであるが、現今北支に於て皇軍の利用しつゝ、ある鐵道は總延長約四千軒で、我が國の青森、鹿兒島間の二倍に相當する距離である。戰場に於ける鐵道は至る處敵の大規模な破壊を受け、殊に主要な鐵橋は悉く根底から破壊されたが、我が勇敢な鐵道隊は鐵道省、滿鐵から派遣された諸機關、其の他の適切な處置に依つて不眠不休の努力に忽ち回復し、敵をして啞然たらしめてゐる。殊に敵が徹底的に破壊した黄河の鐵橋は付つて支那側が外國技術の粹を借りて三年有餘の歳月を費して建設したものであるが一度我軍の手に入るや、疾風迅雷、二月中には早くも應急の運行をなし、同時に永久的再建に着手して近々開通する運びになつた。

是等の鐵道は軍の要求に應ずる許りでなく、次第に民衆の需要をも満たして居り、各沿線には善良な支那民衆が加速度的に復歸し、安じて生業に従事してゐる。又舊従業員も目下三萬人以上も復歸して、我が優秀な鐵道技術に信頼し、手厚い給與に欣然として勞務に服し

て居る。かくて北支の諸鐵道は着々常態に復し、就中北寧線の如きは事變前よりもつゞき収益を擧げ、北支明朗化に非常な貢獻をなして居る。

何千年來支那民衆を惱ました

河川治水に土木隊渡支

悠久幾千、禹の時代から支那を惱まし續けてゐる大黄河を初め大陸支那を縦横に流れる幾多大河川の汎濫を根本的に解決しよう云ふ、支那百年の大計を背負つて内務省下關出張所長三浦七郎博士が、臨時政府北支建設總署の初代技監として赴任する事になつた。博士はこの支那大陸の改造も云ふべき此の重任を擔ふて、新興北支開發の先驅者として内務省技師三十名、技手十八名、其他總計四十八名の戦士を引率して、五月二十日頃出發の豫定である。

上海の復興は實に目ざまし

在留邦人も二萬二千餘名

復興建設の意氣に溢れる上海日本人町は、昨年十一月末から復歸者がつゞき押かけ、日本人の人口は急増の一

途を辿つて居るが、最近總領事館警察の調査に依る人口は二萬二千二百六十七名で僅か五箇月未満の短期間で事變前の人口三萬人に達せんとしてゐる。その内譯は

内地人	戸數六千五百五十八戸	人口	二萬六千五百五十七名	
朝鮮人	戸數	四百二十戸	人口	千三百三十八名
臺灣人			人口	四百八十一名

大場鎮陥落以前、虹口一帯が戦火の中にあつた當時在留邦人は僅か五千名迄になつたが、大上海の治安が完全に確保されるや連絡船毎に復歸者が増し、日本人町は驚くべき盛況を呈しこの爲、虹口一帯は従來の旅館、ホテルだけでは間に合はず、支那旅館を改造したホテルが次々に生まれ、又到る所に急造の飲食店が昔の看板も替へないで開店する等非常な商賣繁昌ぶりである。又蘇州河をへだてた共同租界フランス租界の支那人も四月上旬以來五十萬人以上も急増し、上海の商業界は従前より好況を示すと共に金融界も活潑に成り、各銀行の當座預金も従前に比べて増加した云はれ、又市内の娛樂場、旅館、支那料理屋など千客萬來の盛況を呈し、上海の復興は目ざましいものがある。

上海へ行くには之だけは心得て

息づく港上海、伸び行く復興上海を屈指して一攫千金を夢見る人々が毎日の如く埠頭に洪水のやうに吐き出されてゐる。郷里の家屋敷全部を賣り拂つて來た、皇軍慰問、事業視察等々種々雑多な理由をつけて殺到して來る群が、本當に皇軍慰問を爲し事業の視察を爲して歸る者が幾何あるであらうか、恐ろしい様な危険をさへ感ずるのである。

凡そ旅行乃至事業の計劃を爲す者は目的地に對する調査研究の必要なる事は勿論である。

ところが昨今流れ來るこのころの渡航者の群で斯うした點に就いて深い研究を遂げてゐるものあるを知らない。殆ど全部が上陸第一歩より戸迷つてゐる實情である。出發に當つて所轄警察署の嚴重な調査と身元證明書に相當の現金の携行が必要だ。所持金の必要だ云ふ事由は埠頭よりちよつと自動車に乗つても二圓乃至三圓ならぬ、手荷物一箇を托しても六・七十錢はかゝる、宿屋も満員で一室一人なごみ勝手なごみを云つてゐれば食事を別にして十圓位は安くてもみられる。物價は大體に於て臺灣の二倍見れば良い。食料品は割合に安くなつて來たがそれでも五割高と思へば間違ひない。煙草は驚く程安い、

バット五錢、チエリー七錢だが敷島朝日云ふ煙草は手に入らない。生魚は馬鹿に高い、一杯屋で喰つても一人前八十錢から一圓はこられる。

先づ事業を初めやうとする者は宿料が不経済なので慌て、店舗を借らうとするが却々之が簡單には行かない。共同租界の建築物は殆んど英國人が支那人の所有物である爲め、之等の交渉が右から左に云ふ譯には進行しない。支那人の多くは失踪してゐるため空家はあつても交渉の相手がなく空しく素通りせなければならぬ、又繁華な日本人町には一軒も空家は無い、あつても爆彈の洗禮を受けて僅かに形態をこめる程度で造作をすれば新築以上の経費を要する見なければならぬ。空家を探すだけでも一仕事である。支那語が英語を知つてゐれば幾分便利である。市井の悪賢い連中が数箇月前からも事計畫業の當もないのに家賃の値上りを豫想して數軒を借り入れてゐる不徳義漢が相當居る模様で、之等の手にかつて莫大な金を絞り取られる者もある云ふことである。營業も事變化の上海は陸、海軍に領事館警察の手を経なければならぬ。上陸はしたが商賈は出来ぬ、何時までも宿屋で徒食をし遂に所持金の全部を使い果して身動き

も出来ぬ破目に立ち到る者も數多ある。現在上海での營業として料理屋、飲食店類似のものはあり餘る程ある。料理屋も一流のものならば相當有望だ。喫茶店が相當あるが、落付のある店はほんの指を屈する程しかない。雜貨は内地直輸入である。臺灣としては臺灣物産を詳細に研究してか、れば案外良いものがあるかも知らぬ。

**我が宣撫工作着々功を奏し
中支各地明朗化す**

中支戰鬪地域内の我が宣撫工作を相俟つて支那避難民も續々復歸し、更生の支那建設に涙ぐましい努力を拂つて居るが、四月十日京滬鐵道の要地常州へ避難先から歸つて來た陸桂成は今回の事件で住み慣れた、我家は跡形もなく破壊されてゐるものも心配しつゝ、歸つて見るに日本軍の爲屋敷は勿論、家財道具まで一切保護され、整然としてゐたのに痛く感激し、早速自治委員會委員一諸に常州の日本軍〇〇部隊に出頭し、「何卒親切な日本軍の兵舎として使用して下さい。」と申し出た。

此の奇篇な行爲に同部隊では謝意を表しましたが、一般支那人に迷惑を掛けないとの見地から「現在兵營は充分である。新しい部隊が、此の常州に來た時にでも使はして貰ふ」と述べて歸宅せしめた。

最近各地に抗日軍、敗殘兵の暴行に堪へ兼ねた良民が日本軍の規律ある行動を聞き知つて避難地より續々歸還し、或は自ら治安維持會の委員となり、或はこれと協力して治安工作に力めつゝある。

北支の肅正着々進捗し

皇軍の下に續々抗日軍兵歸順

最近に於ける北支の治安は我日本軍の捕まざる努力に依り、抗日戦の非を悟つた敗殘兵、匪賊團は次第に歸順し、或は離順の申入れをして居るが、北支各地の治安狀況を綜合して見るに次の通りである。

先づ北支全般に見て共産的色彩の濃厚な匪團は總數約一萬五千、敗殘兵、紅槍會匪等を主體とする抗日的匪團は約二萬五千、一般匪團約二萬ある。

此れに對し匪團及び支那正規軍で歸順を完了したものが約四萬、歸順の申入をしてゐる者約四萬で、先日琢州の東北方遼東鎮附近で共産匪賊のため鐵道襲撃を強要された匪賊の首領陳東頼は部下三千名を率ひて我軍に歸順して來た。

中でも先に歸順した李福和の率ひる和規兵一萬五千、季泰の率ひる民團三千は共に皇軍に協力皇協軍を組織し又陳東頼の率ひる民團三千は冀北防衛軍と改稱し匪賊討伐、敗殘兵掃蕩に各地に轉戦し相當の成績をあげて居る。

在留支那人の要請により

臨時政府の辦事處設置さる

日本に在留する支那人は現在約十萬人に上つて居るが是等在留支那人は先程東京市麻布區西町の中華民國臨時政府駐日辦事處に對し横濱、神戸、長崎、臺灣にも辦事處を設置されたいと要請したので、同辦事處では北京の臨時政府に對しこの旨傳達したが近く是等四箇所に辦事處設置が實現するものが見られてゐる。

事變日誌

臨時情報部

四月二十一日

海軍航空隊中南支に活躍、中支に於ては揚子江蕪湖上流大通附近に於て山地に據る敵兵を爆撃多大の損害を與へたり。

四月二十二日

我が軍厚和北西より敗走中の馬占山軍の退路を斷ち馬連漢(百靈廟西南八里)を占領せり。又他の一部隊は包頭より固陽に向ひしを以て敵は完全に包圍せられ殆ど殲滅するに至れり。

四月二十三日

1. 我が精銳なる皇軍部隊の猛攻により一時鳴りを鎮めてゐた太湖西南地方の敵匪は最近又もや廣徳附近より杭州或は錢塘江岸に出没し居るを以て我が守備隊は隨所に果敢なる討匪行をなしつゝ、あ

り。

2. 海軍航空隊廣東を空襲粵漢鐵路及黃浦の火藥庫を爆撃炎上せしめたり。

3. 支那事變第一次論功行賞の發表ありたり。

陸軍三千五百七十四名 計四千三百三十九名
海軍 七百六十五名

4. 鮮ソ國境方面にソ聯兵の不法越境事件あり、直ちに我に撃退せられたるも同方面の状況漸く緊迫せり。

四月二十四日

1. 我が山東南部作戦部隊は鄒城(沂州南方十五里)城門を占領續いて城内を掃蕩中。

2. 我が海軍揚子江々上艦隊は陸軍部隊の和縣占領に際しこれに極めて密接なる協力をなし所期の目的

を達成せり。

3. 上海新公園に於て支那海方面艦隊一千の合同慰靈祭行はれたり。

四月二十五日

1. 我が軍は頑強に抵抗する敵を掃蕩して完全に安北城を占領せり。

2. 海軍航空隊衢州(浙江省)飛行場を爆撃多大の損害を與へたり。

3. 支那方面艦隊司令官更迭新に及川中將親補され長谷川前長官は凱旋後横須賀鎮守府司令官に轉ずるこゝまなれり。

4. 譽れの臺灣農業義勇團熊澤團長以下勇躍壯途に上れり。

四月二十六日

靖國神社臨時大祭執行され畏くも天皇陛下には行幸遊ばされ盡忠の英靈に御親拜あらせらる。

四月二十七日

1. 我が軍江蘇省中部の頑敵を掃蕩しつゝ、鹽城に迫り

遂に之を占領、更に北方に向け追撃中なり。

2. 海軍航空隊蘭封(離海線)及び廣東、福州飛行場を爆撃せり。

3. 我が農業義勇團一行は無事上海附近の目的地に着せり。

四月二十八日

1. 我が海軍航空隊は徐州驛に集中せる約四百輛の軍用貨車群に徹底的に爆撃、又機關庫、倉庫等を爆破せり。

2. かねて國民政府の宣傳に眩惑され赤魔に襲はれつゝ、ありし西康、西藏方面の民衆に最近漸く國民政府離脱の機運動けり。

四月二十九日

1. 天長節祝日、島都にては總督府廳舎前に於て盛大なる觀兵式あり。

2. 我が海軍航空隊の精銳五十餘機大舉敵空軍の温床漢口を空襲、敵戦闘機約八十機が壯烈なる空中戦を演じ敵機五十一機を撃墜再建途上にある敵空軍に致命的打撃を與へたり、我方二機も歸還せず。

四月三十日

1. 安徽省東部の肅正攻撃を行ひつゝ、西進を続けつゝ、ありし我が軍は、遂に淮南鐵道沿線の要地巢縣を占領せり。
2. 海軍航空隊隴海線の要衝歸德驛及び衢州飛行場を空襲又他の部隊は粵漢英德以南、福建の長汀飛行場を爆撃せり。
3. 三月及四月中に於て我が海軍航空部隊の撃破せる敵機の數左の如し。

計	三〇	計	一九機
稍確實を缺くもの	一	計	五
四月中		擊破	
確實なるもの	五九	地上爆破	
稍確實を缺くもの	一〇	一〇	
計	六九	二	
事變發生以來の累計		八一機	
擊破		地上爆破	
確實なるもの	三九八	四四八	
稍確實を缺くもの	五〇	五二	
計	四四八	九四八機	
地上爆破			
擊破			
確實なるもの	一三		
地上爆破			
擊破			
確實なるもの	一		

臺灣國立公園寫真並ポスター懸賞募集

臺灣國立公園協會

南瀛の華麗島臺灣に新に誕生したる大屯、次高タロコ、新高阿里山の三國立公園は其の雄大なる規模に豊富なる風景資源に依り我國國立公園系統中特異の位置を占むるものであります。今回其の特色ある大景觀を汎く紹介宣傳し之が利用開發促進の一助たらしめる爲め左記要項に依り寫真並にポスターを募集致しますから奮つて御應募下さい。

臺灣國立公園寫真懸賞募集要項

- 一、募集の趣旨 本島に於ける大屯、次高タロコ、新高阿里山の三國立公園の風景・動植物生態・民俗等の寫真にして三國立公園を紹介宣傳し利用開發に資すべきもの、但し從來發表せざるものたること
- 二、印 属 キヤビネ列以上
- 三、寫真送附先 臺灣總督府内務局土木課内臺灣國立公園協會
- 四、締切期日 昭和十三年八月二十日
- 五、審査発表 昭和十三年九月一日
- 六、懸賞金 一等 一名 一〇〇圓
二等 二名 五〇圓宛
三等 五名 三〇圓宛
佳作 十名 五圓宛
- 七、其他の條件
イ、應募寫真の枚数は之を制限せず
ロ、應募寫真には裏面に住所氏名、撮影年月日、箇所及簡單なる説明を記入すること
ハ、應募寫真は返還せず又其の採否、發表、使用等に関する一切の權利は本協會に歸するものとす

臺灣國立公園ポスター懸賞募集要項

- 一、募集の趣旨 本島に於ける大屯、次高タロコ、新高阿里山の三國立公園夫々の景觀を紹介宣傳し併せて國民の保健教化に資すべき國立公園の使命を表現せるもの
- 二、ポスターの大きさ 幅三尺五寸内外
- 三、ポスター送附先 臺灣總督府内務局土木課内臺灣國立公園協會
- 四、締切期日 昭和十三年六月二十日
- 五、審査発表 昭和十三年七月一日
- 六、懸賞金 一等 一名 一〇〇圓
二等 三名 五〇圓宛
三等 五名 一〇圓宛
佳作 五名 一〇圓宛
- 七、其他の條件
イ、應募ポスターの枚数は之を制限せず
ロ、應募ポスターは原色五色以内使用のこと
ハ、應募ポスターには其の主題の公園名並本協會名(書體自由)を記入すること
ニ、應募ポスターには裏面に住所氏名を記入すること
ホ、應募ポスターは返還せず、又其の採否、使用等に関する一切の權利は本協會に歸するものとす

部報
昭和十三年五月二十五日發行
（每月一日、十一日、廿一日發行）
第二十五號

昭和十三年五月九日印刷
昭和十三年五月十一日發行

（月三回發行）

臺灣總督府臨時情報部

印刷人 臺北市榮町三丁目十五番地
加藤 豐吉

印刷所 臺北市京町二丁目四十三番地
小塚本店印刷工場